

事業概要

応募No.	17		
事業主体	鹿児島県・霧島市	事業箇所	鹿児島県霧島市国分中央一丁目地先
応募者名	霧島市 建設部 都市計画課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ しんまちせん やまさきせん せいびじぎょう 都市計画道路 3・4・11号新町線、3・5・10号山崎線 整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、霧島市街地を横断して鹿児島空港と国道10号や東九州自動車道国分インターを結び、大隅地域から鹿児島空港へのアクセス道路としての機能及び中心市街地の渋滞緩和や学校の通学路の安全性確保等を目的として、県と市が2つの都市計画道路を一体的に整備したものである。</p> <p>県施工の新町線は、県道 国分霧島線から市道 福島～清水線までをバイパスとして整備するもので、JR日豊本線を跨ぐことから施工延長500mのうち158mは橋梁となっており、市施工の山崎線とはこの橋梁部で接続するため、交差点が橋梁上にあるという独特の構造となっている。また、このバイパスの左右に大学等が隣接していることから、大学等と協議を重ね学生の移動経路及び景観対策に配慮している。</p> <p>市施工の新町線は、県道 国分霧島線との交差点に右折レーンを設置し交差点を完成させるもので、これにより都市計画道路2路線の整備効果の増大はもちろん交差点での渋滞が大幅に緩和された。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.8km	
	幅員(m)	12.0～16.0m	
	事業期間(和暦)	平成25年度～令和3年度	
	事業費(億円)	約58億円	
受賞歴	有・無	無	
URL			

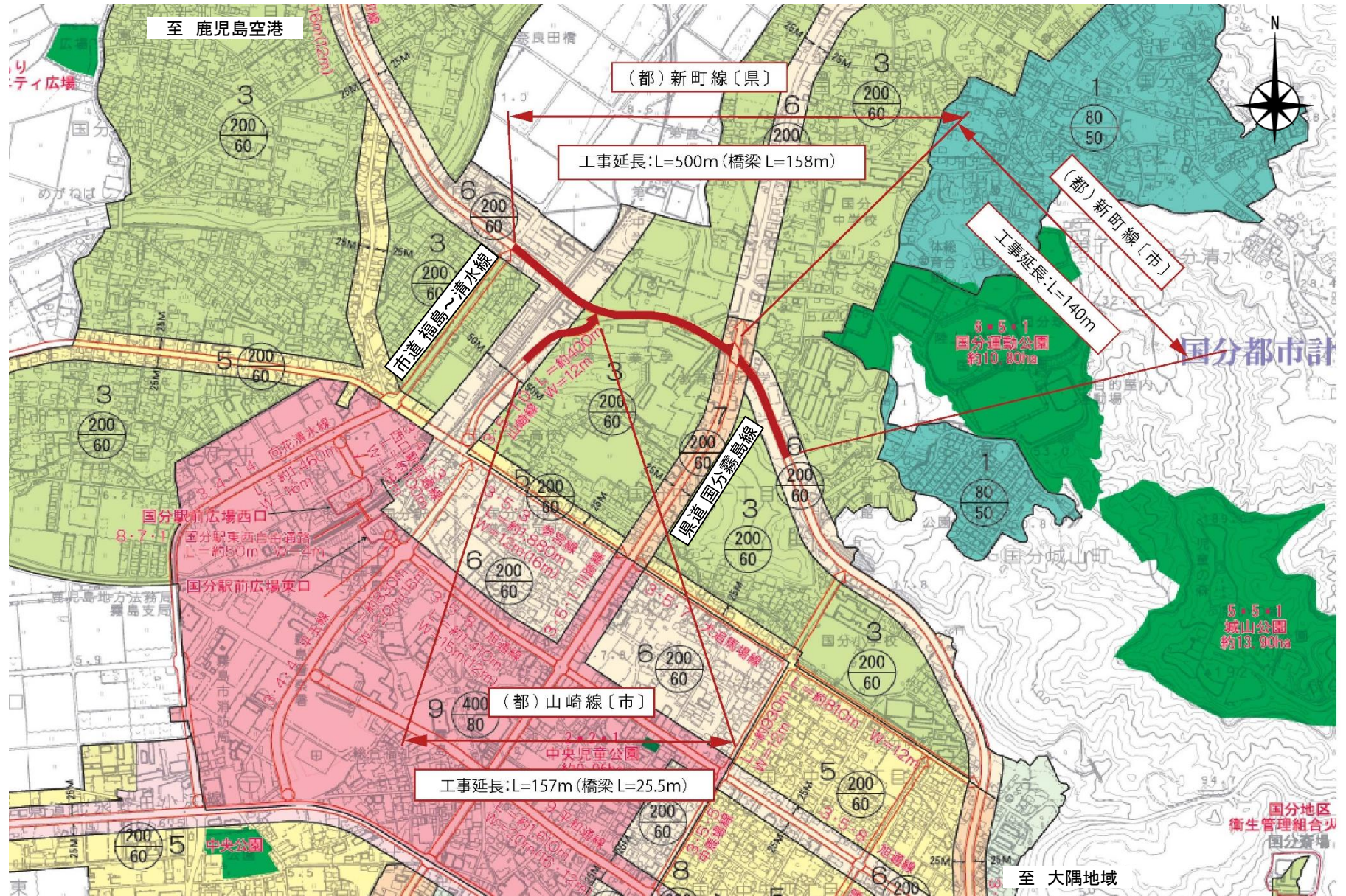
事業位置図

霧島市：(都)新町線、(都)山崎線

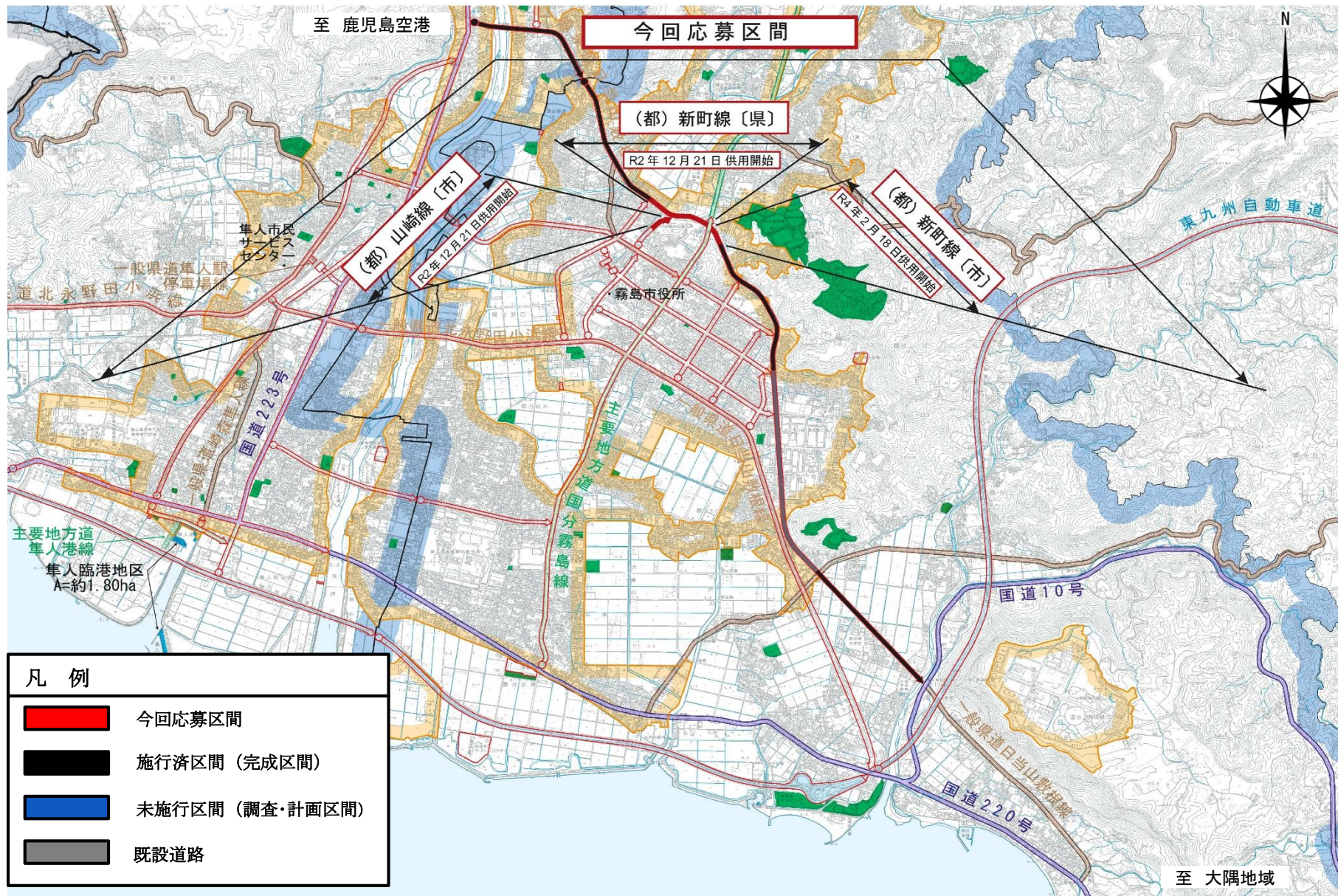


都市計画図(用途地域図)

霧島市：(都)新町線、(都)山崎線



路線全体の進捗状況

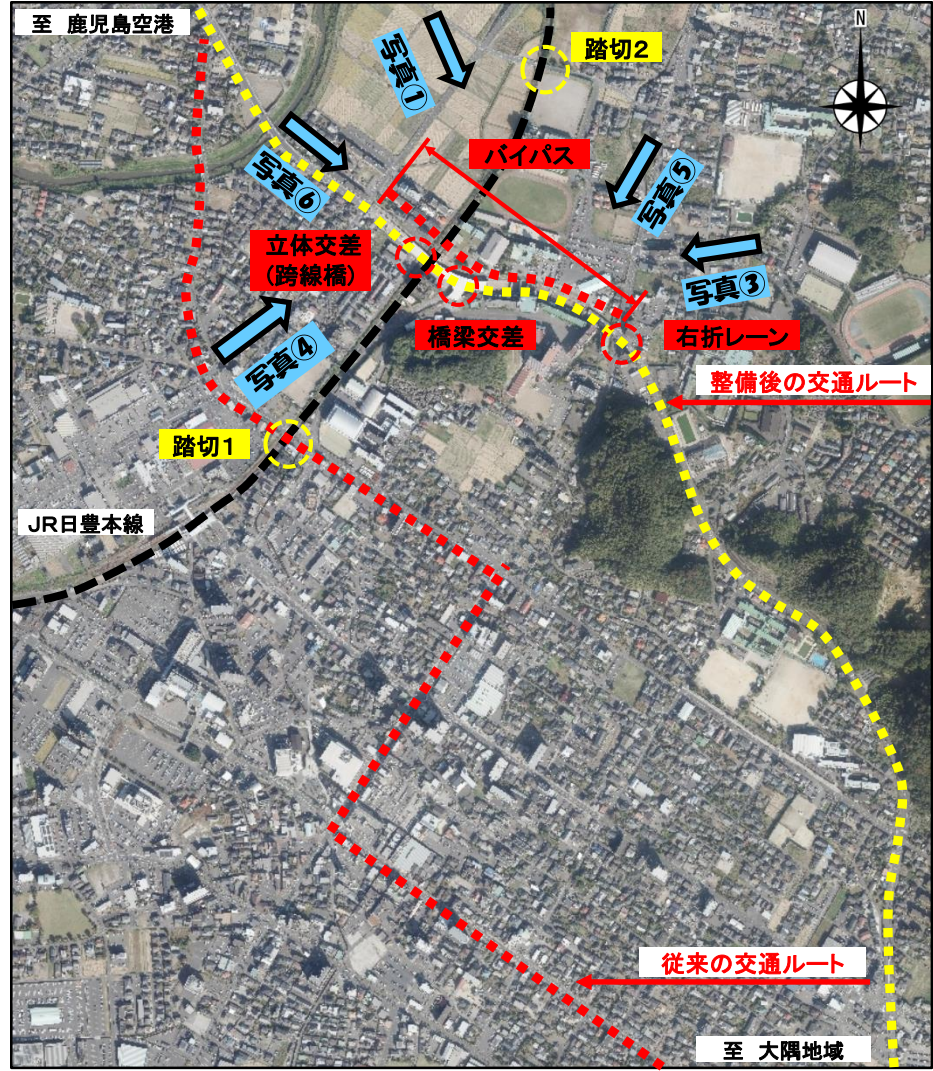


平面図

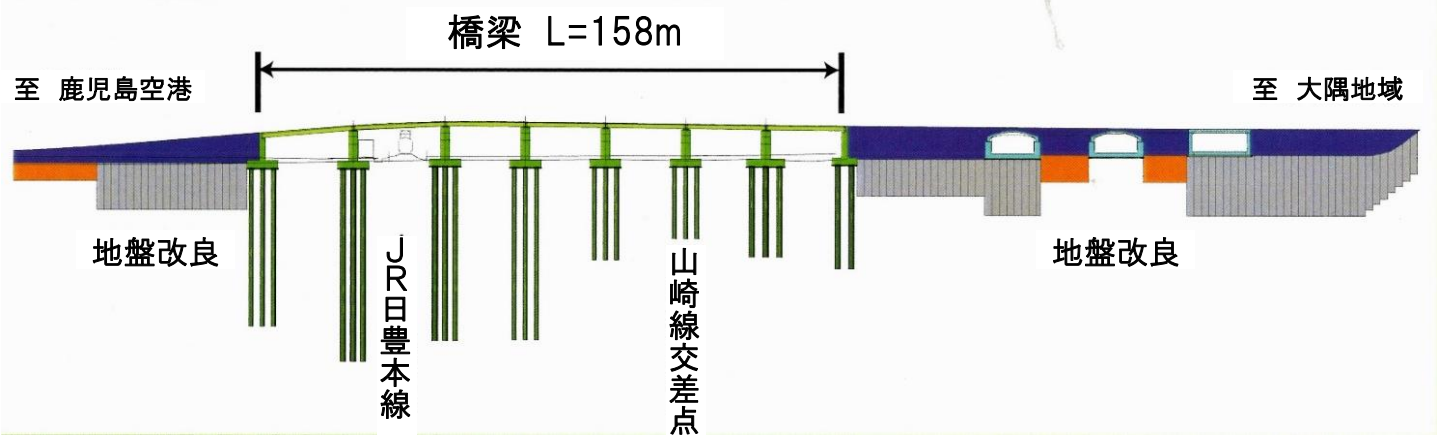
事業前



事業後



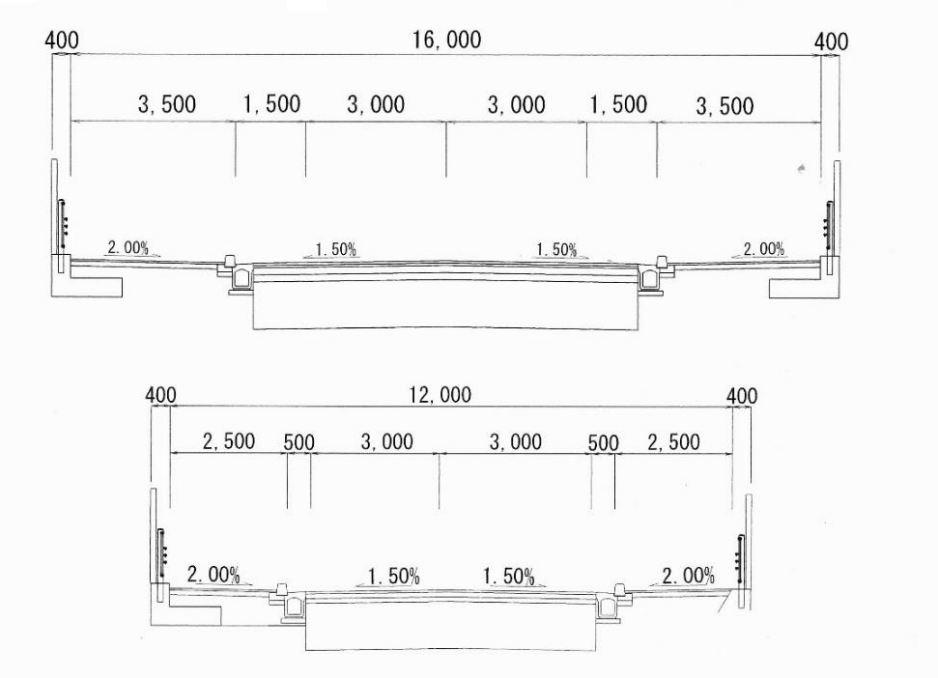
縦断図



横断図

新町線

山崎線



事業後写真

霧島市：（都）新町線、（都）山崎線



至 大隅地域

写真①



事業前写真

写真②

平成29年5月撮影



至 鹿児島空港

令和4年5月撮影



事業効果アピール資料

○ 近隣路線の速度調査を実施 ※平日夕ピーク(17時～19時)

霧島市：(都)新町線、(都)山崎線



写真⑨ 整備前の渋滞箇所1、2



写真⑩ 整備後の渋滞箇所1、2



効果2 → 中心市街地内の交通渋滞の緩和

(近隣の並行路線において速度向上が見られ、生活利便性が向上)

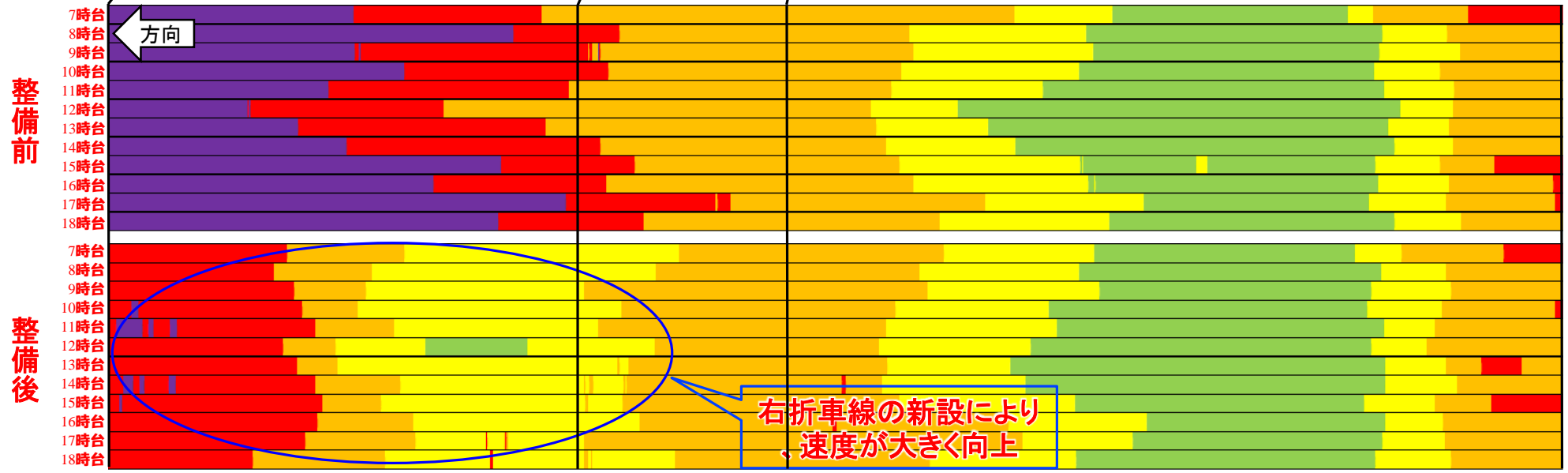
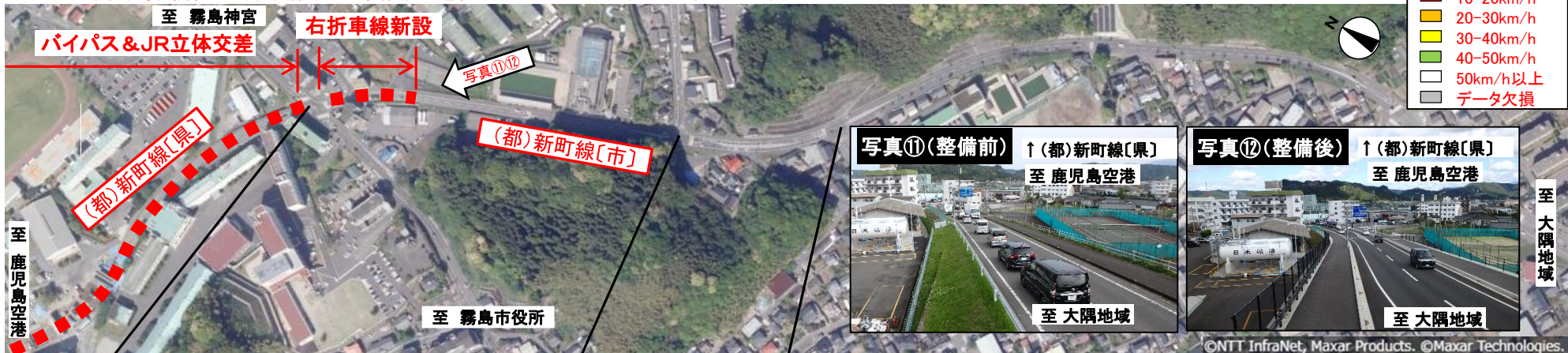
※渋滞箇所1、2、3付近において、「■ 10km/h未満」が解消。

凡例	
■ 10km/h未満	■ 40-50km/h
■ 10-20km/h	■ 50km/h以上
■ 20-30km/h	■ データなし
■ 30-40km/h	● 主要渋滞箇所

出典:ETC2.0

事業効果アピール資料

○ 右折車線新設に伴う旅行速度調査を実施 ※平日昼間(7時～19時)

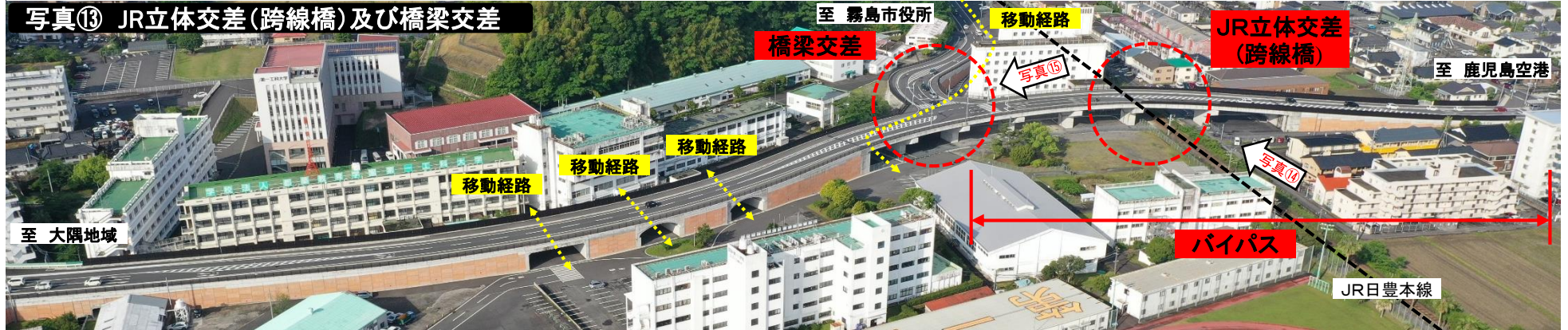


- 効果3 → 右折車線の新設により、主要施設への所要時間の短縮。
- 効果4 → 両側歩道の新設により、歩行者の安全確保及び利便性の向上。

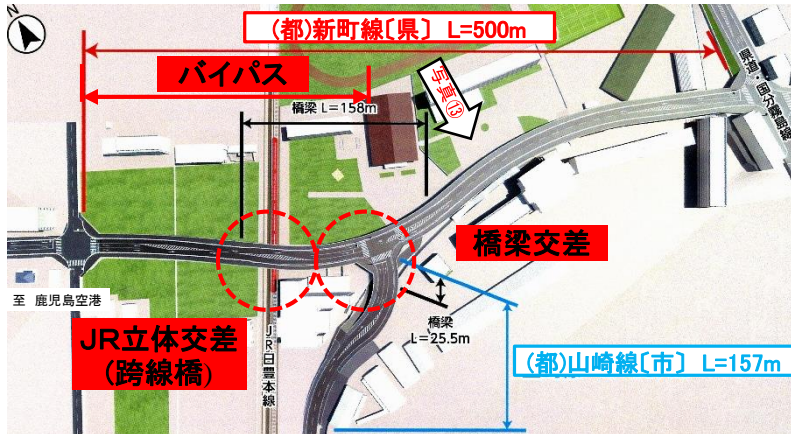
※ETC2.0 整備前R3.10.1-R3.12.26平日 整備後R4.2.18~3.31平日

特徴1 → (都)新町線[県]はバイパスを整備するもので、JR日豊本線を跨ぐことからJR立体交差(跨線橋)となり、跨線橋から県道 国分霧島線までの区間は、走行性と学生の移動経路に配慮し、橋梁及びボックス構造となっている。

(都)山崎線[市]は、(都)新町線[県]の橋梁部に接続するため、交差点が橋梁上(橋梁交差)となっている。



写真⑬ JR立体交差(跨線橋)及び橋梁交差



写真⑭ JR立体交差(跨線橋)



写真⑮ 橋梁交差及び交差点



効果 → 踏切による交通遮断が解消され、交通の円滑化により走行速度が向上した。
都市計画道路2路線の接続に伴い、幹線道路の交通ネットワーク網を形成できた。
歩行者の安全確保及び利便性が図られた。

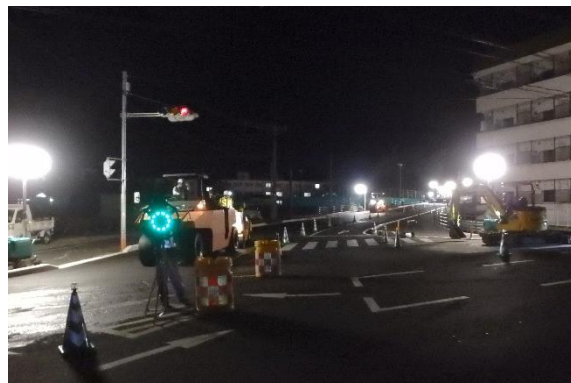
工夫1 → 新町線の市施工区間は、霧島市内でも交通量の多い箇所であり、片側交互通行での施工では交通渋滞の原因となるだけでなく工事期間も長くなることから、関係機関の協力のもと県道との交差点から340mを1ヶ月間全面通行止めとして施工した。
舗装は、通行量の少ない夜間で施工した。

工夫2 → 不特定多数の方が利用することから、広範囲に通行止め及び迂回路の看板を設置し、周知した。

（全面通行止め状況写真）



（夜間施工状況写真）



（看板の設置状況写真）



（看板及び交通警備誘導員の設置状況写真）



（設置した迂回路及び通行止めの看板）



効果 → 工事期間の短縮、交通渋滞及び交通の混乱を回避できた。

令和2年12月23日 南日本新聞

令和2年12月22日 鹿児島建設新聞